

技能評価システム移転促進事業（SESPP）

事業実施報告書【ベトナム】

担当講師	内山 聡（株式会社デンソー）
実施期間	2019 年 12 月 16 日（月）～2019 年 12 月 20 日（金）
実施場所	ベトナム社会主義共和国・ハノイ市 ハノイ電気機械職業訓練短期大学（HCEM）
研 修	技能評価技法研修（SEM）・技能評価トライアル（SET）・ 技能評価者認定（SAC）
実施職種	シーケンス制御 2 級

2019 年 12 月

結果概要

1. 対象者数: SEM 受講者数 5 名 / 修了者数 5 名
 SET 評価者数 5 名 / 評価者認定合格者 5 名
 受検者数 5 名 / 合格者数 1 名

2. 日程

日時	指導内容
12 月 16 日 (月) 8:30～16:30	【技能評技法研修 (SEM)】 ・ 学科試験作成技法解説 ・ 学科試験内容確認、修正 ・ 計画立案等作業試験確認、修正
12 月 17 日 (火) 8:30～16:30	【技能評技法研修 (SEM)】 ・ プログラミング力測定 ・ 要素別プログラミング技法実習
12 月 18 日 (水) 8:30～16:30	【技能評価トライアル (SET) - トライアル準備作業確認】 ・ 課題、チェックシート確認 ・ 会場準備 (試験場、控室、備品類) ・ 試験用盤等、機材、工具準備
12 月 19 日 (木) 7:30～17:00	【技能評価トライアル (SET)】 8:00～9:00 計画立案等作業試験 9:15～10:55 学科試験 13:00～15:20 製作等作業試験 15:50～ 採点作業 開始時間
12 月 20 日 (金) 8:30～16:30	【技能評価トライアル (SET) および技能評価者認定 (SAC)】 ・ 採点作業・試験結果とりまとめ ・ 評価者チェックシートに基づくヒアリング ・ 振り返り及び総括

3. 講評

ベトナムでの「シーケンス制御作業2級」の、第4回目のトライアルと、それを通じて評価者認定を実施した。評価者の認定に関しては、5名共に合格の水準に達していると判断した。シーケンス制御の専門性は、課題の理解力、それに基づく判断力に向上が見られ、検定の準備に若干の時間を要するが合格の水準にあるものと判断した。また検定の運用面での専門性は、検定に関する守秘、検定試験の運営を、そつなくこなすことが確認でき、しっかり習得できていると判断をした。

SEM に関しては、学科試験は作成ツールと作成手順に関して説明を加えた。作成ツールさえあれば当面は困らないと思うが、公平公正な実施のためには、試験問題の論拠を常に意識して、法改正や技術の進歩に伴い見直すことを依頼した。

作業試験（製作、計画立案共に）の作成に関しては未実施である。これに関して評価者からも実施の要請があった。事務局的には本邦研修で終了しているとの判断だと思うが、未公開の試験に関して言えば、試験課題作成は、作成能力、作成手法共に目標未達である。

4. 受講者へのアンケート結果

<SEM>

◆受講者 5 名（回答者 5 名）

満足度： 大変満足 = 4 人 満足 = 1 人
役立ち度： 大変満足 = 5 人
継続期待度：是非とも継続すべき = 4 人 継続すべき = 1 人

【有意義な内容・項目は何だったか？】

- ・試験を平等かつ客観的に実施する方法を身につけたこと。
- ・技能検定試験の意義と価値を理解するようになったこと。
- ・国家技能検定の実施方法と評価基準を理解できた。
- ・試験問題の翻訳版を復習すること。
- ・評価者の能力や専門的スキルが向上したこと。
- ・試験問題の作成方法を勉強できたこと。

【意見・感想】

- ・シーケンス制御の試験問題を作成できるようになりたい。
- ・トライアル、更に正式な技能検定試験を実施できるようにしたい。
- ・HCEM を評価センターとして認定し、全国規模の国家技能検定を実施したい。
- ・実技試験の試験問題の作成方を紹介してほしい。
- ・評価者の専門的スキルをより高めたい。
- ・シーケンス制御 1 級のレベルに近づきたい。
- ・ベトナムでの技能検定実施を改善するため、日本での研修を受講したい。

【実施希望職種】

- ・シーケンス制御 1 級のトライアル・研修
- ・電気機器組立て（配電盤・制御盤）
- ・製図
- ・ロボット制御

◆現地責任者 1 名（回答者 1 名）

継続期待度：是非とも継続すべき = 1 人

【改善点・提案】

- ・受検者の多くが学科試験に不合格になっており、日本の専門家から解答に関するアドバイスをしていただきたい。

【意見・感想・実施希望】

- ・可能であれば、機械検査を実施したい。近い将来には、シーケンス制御、CAD を実施したい。

<SET>

◆評価者 5 名（回答者 4 名）

満足度： 大変満足 = 4 人
役立ち度： 大変満足 = 4 人
評価能力の向上度： 大変向上した = 4 名
継続期待度： 是非とも継続すべき = 3 人 継続すべき = 1 人

【意見・感想】

- ・ 実技試験の問題作成に関する研修をしていただきたい。
- ・ 引き続き、HCEM にて評価者トレーニングを実施していただきたい。

【実施希望職種】

- ・ シーケンス制御 1 級
- ・ メカトロニクス
- ・ CNC 旋盤、CNC フライス盤

◆受検者 5 名（回答者 5 名）

満足度： 大変満足 = 2 人 満足 = 2 人 あまり満足はしていない = 1 人
役立ち度： 大変満足 = 2 人 満足 = 3 人
継続期待度： 是非とも継続すべき = 2 人 継続すべき = 3 人

【改善点・提案】

- ・ より多くの職業訓練校または企業からのトライアル参加を希望する。
- ・ トライアル受検者は試験実施前に練習をするべきである。
- ・ より多い受検者がトライアルに参加できるように規模を拡大してほしい。
- ・ テストの現地語訳をよりわかりやすくしてほしい。

【意見・感想・実施希望】

- ・ 大変勉強になった。オートメーションに関するトライアルを実施してほしい。
- ・ より多くの職種のトライアルを実施していただきたい。

◆現地責任者 1 名（回答者 1 名）

継続期待度： 是非とも継続すべき = 1 人

【改善点・提案】

- ・ 受検者の多くが学科試験に不合格になっており、日本の専門家から解答に関するアドバイスをしていただきたい。

【意見・感想・実施希望】

- ・ 可能であれば、機械検査を実施したい。近い将来には、シーケンス制御、CAD を実施したい。